

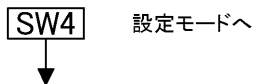
## 補足資料. 通信仕様の設定手順

入力モードなど設定済みで、局番号設定のみ行う場合は、下記手順で進めて下さい。

1. リセットボタンを押します。
2. **SW4**を押します。
3. **SW5**を数回押して「Id \*\*」の表示にします。
4. 続きは下記[手順 4]の手順で行って下さい。

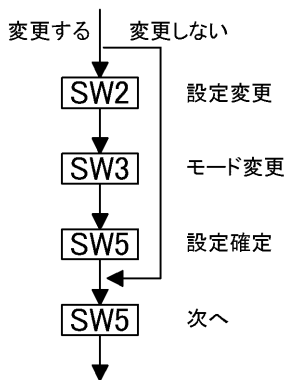
### 設定手順

#### [手順 1] 設定モードに変更



設定モードに入るため **SW4**を押して下さい。[手順 2]へ。

#### [手順 2] 入力モードの設定



上段に“CHx” (xは行番号)、下段に現在設定されている入力モードが表示されます。(1行表示タイプはCHxは表示されません。)

モード設定表示	入力信号
1-5	1-5V
4-20	4-20mA
232	RS-232C、RS-422、RS-485

変更しない場合は **SW5**を押します。[手順 3]へ。(注 1)

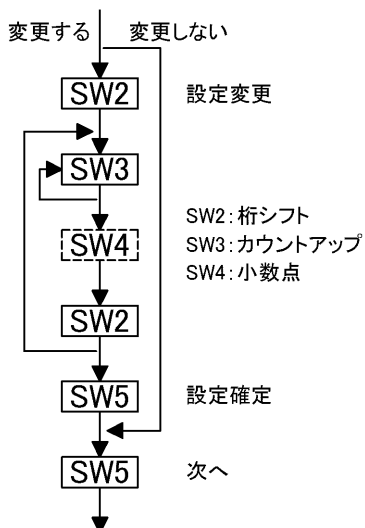
変更する場合は **SW2**を押して変更モードに入ります(点灯→点滅)。

**SW3**を押し、入力モードを変更します。変更し終わったら **SW5**を押して確定します(点滅→点灯)。もう一回 **SW5**を押します。[手順 3]へ。(注 1)

※(注 1)「通信モード[232]」の場合は、スケーリング設定はありません。

次の行の設定[手順 2]になります。全使用行数設定後に局番号「Id」の設定画面 ([手順 4]) が表示されます。

#### [手順 3] スケーリング値の設定



次に、スケーリング値の設定を行います。設定は H の時(5V 又は 20mA 入力時)から行い、次に L の時(1V 又は 4mA 入力時)を行います。

画面上段に“CHx-X” (xは行番号、XはH又はLが表示される)、下段に現在設定されている値が表示されます。(1行表示タイプはCHx-Xは表示されません。)

現在設定されている値を変更しない場合は **SW5**を押します。(H の設定時は、続いて L の設定を、L の設定時は次の行の設定[手順 2]へ。)

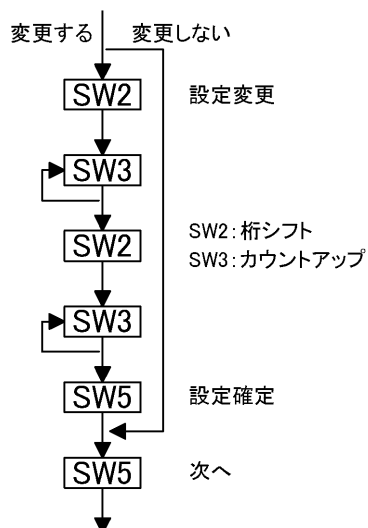
変更する場合は **SW2**を押して変更モードに入ります(“0”が点滅して表示されます)。数値は上位桁から順に設定します。 **SW3**を押すと順次カウントアップします。“-”の場合は“-”表示が出るまで押して下さい。

小数点の設定は **SW4**を押します。(注. 小数点の設定場所は、H の時と、L の時で統一して下さい。) **SW2**を押すと次の下位桁に移行します。

設定が完了したら **SW5**を押します(点滅→点灯)。もう一回 **SW5**を押します。(H の設定時は、続いて L の設定を、L の設定時は次の行の設定[手順 2]へ。)

設定は[手順 2][手順 3(CHx-H)][手順 3(CHx-L)]の順で各行設定して行きます。通信タイプの場合、全使用行の設定後に局番号の設定画面[手順 4]になります。

#### [手順 4] 局番号の設定

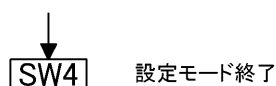


画面に「Id \*\*」と表示されます。この\*\*が局番号です。

この値を変更しない場合は、**SW5**を、変更する場合は**SW2**を押します。**SW2**を押すと、“0”が点滅して表示され、変更モードに入ります。局番号は「01」等2桁で設定して下さい。最初に十の桁から設定します。**SW3**で順次カウントアップします。**SW2**を押すと、その時の数字が十の桁として確定し、一の位の設定に移行します。**SW3**を押し、一の桁の設定を行います。**SW5**を押し、確定します。もう一度**SW5**を押すと、1行目の設定画面に戻ります。

すべての設定が完了したら設定モードを終了させます。[手順 5]へ。

#### [手順 5] 設定モードの終了



**SW4**を押すと設定モードは終了し、標準時画面に戻り、入力信号に応じた値を表示します。

(入力信号の無い時、アナログ入力設定時は「U.L.」を、通信入力設定時は、「00000」を表示します。)